

かしわ

「我ら自身にて知り得る事物をは 教え玉ふな」

校長 北村 耕一

もうすぐ子どもたちが楽しみにしている「夏休み」に入ります。毎年同じことを書いてしまいますが、学校生活では得られない体験を学ぶ良い機会だと思います。

今まで「かしわ」の誌面において、学校で体験した活動を、子どもと活動を共にした教職員に報告してもらいました。幼稚部・小学部・中学部・高等部のそれぞれの活動で、子どもたちは自らの体験を通して物事を考え、知識（子ども自身は意識していないかもしれませんが）を得ていると思います。

「我ら自身にて知り得る事物をは教え玉ふな」非常に難しい言葉です。私はこの言葉を本校の教頭の時に購入した「聴覚障害 2010 年 7 月号 vol165」で読みました。

この言葉について書かれていたのは、当時、筑波大学附属聴覚特別支援学校で副校長としてご勤務されていた今井二郎先生です。

当時、今井先生は関東地区聾学校副校長教頭会の会長をされており、「聴覚障害」の編集もされている「ろう教育」の専門家でした。お会いできるのは、年に2回でしたが、ろう教育はもとより特別支援学校勤務のない、一般の中学校の教諭からろう学校の教頭になった私の質問・疑問に答えていただいたり、話を聞いていただきました。

お世話になった今井先生の紹介して下さった「我ら自身にて知り得る事物をは教え玉ふな」は、



No. 9 平成29年7月10日 学校のアジサイの花

1889年＝明治22年に東京盲聾学校の石川倉次先生が「日用単語」という基礎語彙集に記された言葉です。今井先生はこの言葉を「教師の心構え」と紹介されています。

今井先生はこの言葉は「子どもたちの『知りたい、学びたい』という気持ちを掘り起こし、育てることが大切だと言っている」からだと言われています。

また、「『学ぶ喜び』という言葉がある。学んで、学習して新しい事物や考え方などを知り、世界が広がる、深まる。人間、特に子どもたちは好奇心旺盛な存在である。目の前の自分と違う未知の世界、また自分自身のことも、どんなことでも知りたがる。自分が予想していたことと異なることが起こると、興味が沸く。そこには『なぜ』という心と頭の活動がある」とも述べています。

今井先生はこの言葉を「教師の心構え」と言われましたが、私は教師に限らず、子どもたちに接する全ての「大人の心構え」ではないかと思います。子どもたち「学ぶ喜び」は教科学習のみならず、それを土台として様々な場所で体験することからも得られると思います。

学校、家庭、地域において「知りたい、学びたい」という気持ちが生じるように、私たち大人は子どもと関わりたいと思います。どう関われば子どもの「心と頭の活動」＝「考える力」を育めるのか？これは私たち大人の夏休みの宿題だと思います。

神体連陸上競技大会に思う

教諭 秋葉 俊明

6月9日(金)薄曇りの心地よい風の中、本校の先生の手話通訳で第47回神体連陸上競技大会の開会式が幕をあげました。少し緊張した面持ちで式に参加しているわが校の精鋭は、高等部2年生、中学部2年生、中学部1年生の三名。エントリー種目は、高等

部2年生は100m・400m・ソフトボール投げ、中学部2年生は100m・ジャバリックスロウ、そして中学部1年生はソフトボール投げでした。三名



とも『今日は頑張るぞ』という気持ちが表情にみなぎっていました。

第46回大会で100m・400m・ソフトボール投げ三冠王の高等部2年生は、今年も期待を一身に背負い400mに挑みます。100mで敗れた川崎校のライバルと再び一騎打ち。スタートにつき号砲と共に、腕を大きく振りあげ激走開始。苦しさには耐えながら400m走り切りゴールの瞬間倒れ込みました。2位に終わりましたが、精根尽きるまで全力を出し切った彼の姿は皆に感動を与え、拍手喝さいが沸き起こりました。

中学部2年生は、他校の選手と共に100mを一生懸命に走り切りました。中学部1年生は、まるで経験者かなと思うようなきれいなフォームでソフトボールを投げました。

とにかく全員が自分が持てる精一杯の力で競技に参加していました。ご苦労様でした。

100mで車椅子の女子生徒がゆっくりですが着実に前に進み完走したレースは、「遅くても、一步の積み重ねはいつか必ず大いなる成果に繋がる」ことの象徴に見えました。感動しました。ここにこそ、この大会の意味があるのではないのでしょうか。4校の選手の皆さん！たくさんの感動をありがとう！

幼稚部の校外学習

教諭 最上 裕美

6月2日(金)「出発！」隊長のRちゃんの合図で日ノ出町駅から動物園に元気に向かいました。

「車に気をつけてください」「赤信号です。ちょっと待ってください」「青信号です。渡ります」安全に気遣いしっかりと声をかけてくれました。

動物園の看板が見えると「ライオンが見たいね」「クマが見たいね」「ペンギンが見たいね」と、ますます元気に進みました。

動物園では身を乗り出して「いた、いた」と大喜び、しおりで確認する姿も見られました。

ふれあい広場では係りの方の説明をきちんと聞き、モルモット、ハツカネミ、コトリスを優しく抱っこしました。箱にいるモルモットが群れて押し合っている様子に「けんかはダメだよ」「おさないでね」と優しくことばをかけていました。

お母さんが作ってくれたお弁当を「おいしい」と素敵な笑顔で頂き、お菓子の交換を楽しみました。

この日は動物が目の前まで来てくれて「キリンの舌は黒いね」「コンドルは大きいね」と発見もありました。



「ライオンに行こう」「キリンが見たいよ」「ワニはどこ？」と事前学習で学んだ動物の名前を言いながら探すことが出来ました。

帰りも駅までしっかりと歩き「隊長をやって楽しかったです。」と笑顔で感想を伝えていました。

昨年よりすっかりお姉さんになったRちゃんでした。来年の野毛山動物園で見せてくれるRちゃんの姿が楽しみです。

